

③ 場 所 福島県教育センター

④ 主 題

ア 家庭や地域社会（他の高等学校や生徒指導関係諸機関を含む）との連携を図るにはどのようにしたらよいか。

イ 学校における教育相談はどのように進めたらよいか。
ウ 当面する生徒指導上の諸問題

⑤ 参加者数 89名

(5) 福島県高校生のとどい

① 趣 旨

このつどいは、県内高校生が次代を担う者としての誇りと責任についての自覚を高め、かつ、その使命を果たすためどのような心構えを持ち、どのような生き方をすべきかについて考える機会をつくり、高校生としての人格や識見及び能力を養うための一つの契機にしようとするものである。

② 主 催

福島県教育委員会、福島県高等学校長協会、福島県高等学校生活指導協議会

③ 期 日

7月26日(火)～8月20日(土) 3泊4日 5回 10団

④ 場 所

国立磐梯青年の家（猪苗代町）
福島県海浜青年の家（相馬市）

⑤ 参加者

県内公私立高等学校1年生 873名 86校

⑥ 指導助言者 参加各校の引率教員 93名

⑦ 内 容

交歓会（学校紹介）、討議（より豊かな高校生活を送るために、日常の問題にどのようにとりくんでいったらよいか。）、講演（小林貞治、赤津千町、高橋哲夫、松本敬信、笠原美彌）、奉仕活動、レクリエーション、先生と生徒の座談会、野外活動、キャンドルサービス、反省とまとめ。

(6) 生徒事故防止対策会議

① 目 的

最近における高校生の交通事故、非行数の漸増傾向にかんがみ、専門家等によって種々の面から対策を検討しその防止を図る。

② 会 議

第1回 6月16日(木) 第2回 10月19日(木)

③ 協 議 題

ア 交通事故防止の指導

イ 性的非行防止の指導

ウ 喫煙防止の指導

特に、喫煙防止の指導については、学校における禁煙指導の徹底を図るとともに、禁煙列車運行の実現等について陳情している。

3 進 路 指 導

(1) 高等学校進路指導主事研修会

① 目 的

高等学校の進路指導主事に対し、進路指導に必要な専

門的事項について研修を行い、資質の向上を図り、進路指導の充実を期する。

② 主 催 福島県教育委員会

③ 期 日 5月18日(木)～5月20日(金)

④ 会 場 福島県教育センター

⑤ 参加者 高等学校進路指導主事 101名

⑥ 内 容

ア 全体協議 県進路指導連絡協議会

イ 研究発表

・工業高校における進路に関する調査

郡山北工業高校

・最近の雇用状況と進路指導

喜多方商業高校

・本校における進路指導

浪江高校

・県内就職者と求人状況

学校福島工業高校

・本校における進路指導の実態と問題点

平商業高校

ウ 研究協議分科会

・生徒の進路意識を高める指導

・ホームルームにおける進路指導

・進路情報や個人資料の整備と活用

エ 講 演

思春期の精神衛生と進路指導

福島県立医科大学 金子元久

⑦ 講 師

県商工労働部職業係長

県教育庁高等学校教育課指導主事

(2) 進路指導講座

① 目 的

中学校および高等学校の進路指導に必要な専門的事項について講習を行い、進路指導の充実を期する。

② 主 催 福島県教育委員会

③ 期日・会場

9月13日(火) 会津女子高校

9月20日(火) 相馬農業高校

9月29日(木) 磐城女子高校

④ 参加者

ア 中 学 校 進路指導主事、進路指導担当者、学級担任の中から1名

イ 高 等 学 校 ホームルーム担任、進路指導係の中から1～2名

⑤ 参加者数

会津地区 中学校40名 高等学校27名 計67名

相双地区 中学校25名 高等学校18名 計43名

いわき地区 中学校35名 高等学校20名 計55名

⑥ 講習内容

ア 学級（ホームルーム）における進路指導

イ 学級（ホームルーム）担任が行う就職・進学の指導援助

⑦ 講 師

福島大学教授 佐藤利雄

県教育庁義務教育課、高等学校教育課指導主事